



羅針盤

「助けてください」と言えたときに人は自立している。

（安富 歩）

「大切なわが子を見守る保護者の方へ」

2学期が始まって1か月が過ぎ、市共通テスト、体育大会と大きな行事が終わりました。行事が終わる度に君たちの成長を感じます。

3年生は毎月のようにテストがあり、その度結果に一喜一憂する姿がみられます。

思春期にあたる中学生は、第二次性徴によって心と体が大きく変化する時期です。生徒自身が自分のことをコントロールできれば一番ですが、なかなか難しいのも現状です。今回は、これから入試に臨む子どもをサポートする上で、保護者の皆さんに考えてほしいことを5つ紹介します。

1 わが子との理想の距離は「目を離さず手を出さず」

中学生の時期というのは、ちょうど子どもと大人の過渡期なので、過度な子ども扱いも大人扱いもよくありません。よかれと思って、子どもの先回りをして保護者が何でもやってしまうのは、子どもの自主性を伸ばす機会を減らしてしまいます。一方で、「すべて子どもに任せています」というのも問題があります。では、どうすればよいのか？洋服店の感じのよい店員さんをイメージしてみてください。私たちが声をかけてほしい絶妙なタイミングで接客をしてくれます。

よく似合う服をコーディネートしてくれる店員さんのごとく、しっかり見て、迷っていたら声をかけるけれど、最終的には子ども自身に決めさせることを意識させていきたいものです。

2 わが子の体調管理をできるのは保護者しかない

中学生の勉強のコツは「体調を万全にすること」です。具体的にいうと、睡眠時間を8時間とることです。睡眠不足では、学んだ内容がこぼれ落ち、頭に入っていくません。授業中に居眠りをしようものなら、学んだ内容はゼロになってしまいます。

学校説明会の紹介

鹿児島女子高校

- ・【夜の学校説明会】
10/21 18:00～ ※ 各自web申込、校内申込書の提出は不要です。
- ・【被服作品発表会】
12/21 16:00～ , 12/28 13:00～

睡眠不足でボーっとしている状態がいい結果に結びつかないのは、勉強をスタートする前から見えているのです。こうならないよう、「子どもの体調管理の総監督」として見届けをよろしくお願ひします。

睡眠時間8時間確保がうまくいったら、子どもの体調管理7割は成功です。

3 「誘惑コントロール」の番人になろう

スマホは電話機能に限らず、音楽や動画を再生したり、ゲームをしたり、あらゆる機能を備えた電子機器です。こんな物が勉強する場所に置いてあったら、気になって勉強に集中できないのも仕方ありません。また、スマホは勉強を妨げるだけでなく、睡眠も妨げます。「勉強するときと布団にはスマホを絶対入れない」ということを、最初にスマホを持たせるときに約束し、保護者のコントロール下に置くことが大切です。

4 「才能」ではなく「努力」をほめる

努力をほめられて育った子どもは、才能をほめられて育った子どもに比べて、自分の能力を超える難題であっても、どんどん挑戦していくそうです。思うような結果でなかったとしても、「次はもっと努力してみよう」「こういう工夫をしてみよう」と前向きに受け取ることができるそうです。「頑張った成果だね!」とほめることで、いいことも悪いことも受け止めることができる子どもに成長していきます。

5 合格だけを目指すようなことはしない

決して、高校合格だけを目指さないでください。高校は、子どもの夢や将来への通過点に過ぎません。子どもがこれまでよりどれくらい、どのように頑張っているかを評価して、声をかけてください。思春期真っ只中の子どもは「うるさい!」と言うかもしれませんが、保護者の温かい声はしっかり心に届いています。

神村学園高等部

- ・【進路相談会】かごしま県民交流センター
10/28 13:00-17:00
※ 申込は不要です。



・【高校入学準備講座（通信制課程主催）】

10月～2月のほぼ毎金曜 10:00～17:00
神村学園高等部通信制課程 鹿児島サテライトキャンパス(中央町)